

コード	501070301
記入日	H25.6.1

課コード	106
課名	総務課
課長名	堀江 英生
担当者	上田 嘉章

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	高等学校部活動振興等補助事業
----------	----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	2
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	1
基本事業コード	50107	基本事業名称	高校・高等教育の促進	目コード	1
事務事業コード	5010703	事務事業名称	総務一般管理費（人件費以外）	細目コード	12
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町補助金交付規則		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 町内高等学校		(対象指標1) 2校				
(対象2) 上五島・中五島高等学校の生徒		(対象指標2) 601人□H24.4.1現在)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・上五島高等学校 →部活動振興等補助金 1,530千円 ・中五島高等学校 →部活動振興等補助金 1,377千円	***** 補助金交付件数	***** 2件	***** 100%	***** 補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	当初の目的・計画どおり補助金の交付ができた。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・部活動各種大会での活躍等、生徒の心身の健全な発達に資することを目的として、町内の高等学校2校に対し補助金を交付し活動を援助する。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 部活動の振興	***** -	***** -	***** -	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	部活動各種大会での活躍等、生徒の心身の健全な発達に寄与するものである。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	21	21	19	2	2				
	②									
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	24,501	24,501	21,594	2,907	2,907				
直接事業費 A	千円	24,501	24,501	21,594	2,907	2,907				
人件費 B	千円									
内訳	従事職員数	人								
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	24,501	24,501	21,594	2,907	2,907				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	地元高校の部活動振興による地域活性化を図るため、行政として援助を行なうべきである。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	高校総体等での上位入賞が見込まれるなど高い評価を得ている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	保護者の負担軽減を図ることで、生徒の活動機会が増加する。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	離島高校の生徒に均等な機会を与える事業であり、各競技で十分な結果を残している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	保護者の負担が大きくなる。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	学校規模及び活動実績等により適切な補助金額を決定する。
	今後、課題に向けた改善策	H22から学校規模及び活動実績等により補助金額の見直しを行っている。

2次評価	近年、高校総体等での上位入賞など各競技で十分な結果を残している。今後とも2校間の均衡を図りながら適切に補助金を交付すること。
------	----------------------------------------------------------------

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。